



東亜工機株式会社

世界の海を支える
高精度な船舶用エンジン部品



世界トップシェアの製品

第二次世界大戦中の昭和19年(1944年)、酒蔵に铸造設備を持ち込み、艦船用の部品生産工場として創業した東亜工機。

大型タンカーやコンテナ船などの船舶用ディーゼルエンジンに使われるシリンダライナと呼ばれる筒状の部品を製造しています。

大型船舶を動かすための巨大なエンジンの爆発力を受け止める耐久性と滑らかなピストン運動を維持しながらも磨耗しない強さ。そして潮風でも腐食しない製品が特長です。

「人の命と商品を預かる部品ですので、多くの職人の手で大切に作っています。品質と納期にこだわり、実際に世界を運航する船に当社の製品を使っていただき、腐食の追跡調査を行って開発を進めました。その結果、機関長から耐摩耗性を評価いただき、世界中を走る船で使っていただいています」と光武社長。

幾度となく襲いかかる経済不況を乗り越え、現在、大型シリンダライナの製造ではシェア世界一の地位を確立しました。

高度な技能を若手へ伝承

シリンダライナの製造には、高度な铸造、機械加工、そして仕上げ技術が必要。その技を磨く場所が、平成23年(2011年)に開設した技能習得道場“錬磨”で、現代の名工に選ばれたトップクラスの技術者が若手を指導しています。技能資格の取得も積極的に推奨し、現場で働く約220名の社員のうち100名以上が铸造、機械加工、仕上げなど、さまざまな分野で難易度の高い1級の資格を取得。

また、製造現場では女性の活躍もめざましく、女性が動きやすい職場環境も整っています。

「ロボット化や自動化も進めています

が、ものづくりの原点は作業員一人一人の技能にかかっています。訓練を通して身に付けた五感で感じる力が高い次元の仕事につながります」と光武社長。

新たな主力製品の開発にも積極的に取り組んでおり、その一つが発電用天然ガスエンジン向けのシリンダライナです。複雑な設計も高度な技術で再現し、世界的なメーカーからの受注も受けています。

今後も熟練の铸造技術を生かし、高精度な製品づくりに邁進していきます。



代表取締役社長
みつとけ わたる
光武 渉

巨大なシリンダライナ



東亜工機株式会社

☎ 0954-63-3236

[所] 鹿島市大字山浦丁1430-30

[創業] 昭和19年(1944年)

[従業員] 309名

[HP] <https://toakoki.co.jp/> 東亜工機 検索

ここがポイント!



内径600ミリメートル以上の大型部品では国内で7割超、海外で3割超のシェアを誇る東亜工機のシリンダライナ。高い強度と精度に寄せられる信頼は厚く、メーカーは届いた製品をそのままエンジンに組み込めるほど。不良品を出さない確かな技術が、海上の安全を支えています。